



いまいは今
vol. 291

発行 今井町町並み保存会
発行日 令和6年9月1日
電話 0744-22-1128
<http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/>
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp
◇ご意見・ご感想は
今井景観支援センターまで

第17回今井町灯火会 和らぐ竹筒の灯火

8月3日(土)16時30分、今井地区公民館に、当保存会及び自治会の開催者と町外の支援者達(地域プランナー&コーディネート)養成塾の塾生、大阪のECO動物海洋専門学校(学生)、奈良教育大学の学生など総勢16人が集合し、ミーティングの後、それぞれの持ち場に分散して、17時から竹筒を並べて点灯作業に入りました。今回は初めて竹筒を使用したもので、節のない竹筒の場合は、ロウが地面にこぼれないように、円形のアルミ箔をロウの下に敷く手間が増えました。後始末のことを考慮して、消灯時にできるだけ燃え残りのロウが少なくなるよう点灯時刻を早めましたが、少しの風で火が消えて、再点灯しなければならぬ手間も増えました。19時には、華蕙の玄関で恒例の点灯式を実施しました。点灯式会場は、華蕙の入り口の門から玄

関までの通路の両側に今井町内の町名を彫り込んだ、高さ50〜60センチの竹筒が並べられ点灯されたロウソクの火で町名が仄かに浮かび、より幻想的な雰囲気醸し出す中、点灯式の式典は、米川自治会長、亀田檀原市長、奥田市議会議長の挨拶の後、当保存会中西会長の発声で案内所に横一列に並んだ竹筒のロウソクに点灯しました。



西環濠広場



↑蘇武橋



華蕙



↓春日神社



今回の点灯関連のイベントの一つは、西環濠広場と環濠を利用した「灯籠流し」で、子供達が自分の願い事を紙に書いて書いて環濠に浮かべました。出だしこそ人出はまばらでしたが、一時は記入するテントが満杯になるほど賑わいました。もう一つは、町づくりセンターで行った「おはなし会のタバー」で、子供達に檀原おはなしのメンバーが本の読み聞かせをしました。

点灯箇所は、華蕙と公民館周辺、中尊坊通、御堂筋、稱念寺境内、南町生活広場、春日神社境内、宮前の通りと西環濠広場で、竹筒の向きを工夫して設置した結果、斜めに切った竹筒の内側にロウソクの火が反射して、少しオレンジ系の色を帯びた竹筒の灯火が並んだ風情は、従前にも増して今井町の町並みに一層和やかな趣きを加えました。今までと異なる灯火会を楽しんでいただけたのではないかと思います。

21時には消灯作業に入り、後始末も段取り良く終わることができました。翌日朝の竹筒の手入れ、ゴミの処理等も手早く終わることができ、昨年のように熱中症を心配しながら多人数で午後までかかって灯火筒のロウ取り作業をすることもなく、順調に作業を完了することができました。

昨年に続いて

スーパーカー 今井に大集合

7月28日(日)、昨年に続いて西環壕広場に今年も12台のスーパーカーが集合しました。10時ごろに爆音(?)をたてながら続々とスーパーカーが登場し、一台ずつ車の名前や排気量そして価格の紹介がありました。名前が憶えるのが難しく、排気量はどれも5,000cc以上で価格は1億円をこえるのもあってびっくりの連続です。子供達は間近に見るだけでなく、乗せてもらったりして大喜びです。11時すぎからは、中尊坊通り御堂筋をスーパーカーがゆっくりに駆け抜けて行きました。

今年のアマリの暑さで、辻々でスーパーカーを出迎える人が去年より少なく、チヨット残念な気がしました。



西環壕広場に集合



御堂筋を走行

奈良・町家の芸術祭

はならあと2024

今年で14回目となる「はならあと」が秋の本番に向けて、奈良市内を中心にプレイベント「はならあとmeeting」を9月1日〜10月16日に開催します。

「檀原・今井エリア」は、10月23日(水)〜27日(日)

「吉野町三茶屋・殿川エリア」は11月16日(土)17日(日)

「天川村西部エリア」は11月2日(土)〜4日(月)

「奈良市田原エリア」は11月16日(土)〜18日(月)

という日程で開催予定です。なお、「天川村西部エリア」は初参加です。

今井エリアでは、例年通り会期中の午後「サステイナブル講座」の開催を企画しています。



秋の行事予定

9月22日(日)

奈良まほろばソムリエ検定の今井まち歩き体験学習のプログラムとして、「Nara観光コンシェルジュと巡る」大和今井・中世の町並みが残る今井町(重伝建地区)の歴史を見る・食べる」

10月13日(日)

「着物でジャズ」奈良県立医大と当保存会共催。コロナ禍で中断を余儀なくされていた「着物でジャズ」を順明寺で復活開催。

10月26日(土)27日(日)

- ・春日神社秋祭り・だんじり曳行
- ・奈良県立医科大学大学祭「白檀祭」

今井町内で健康・防災に関連した町歩き

・第47回全国町並みゼミ東京大会

今年、全国町並み保存連盟50周年の節目にあたり、特別イベント計画

保存会ボランティアスタッフ募集

当保存会では、檀原市から景観支援センター(中町)、今井まちや館(本町)、重文旧米谷家(中町)の委託管理を請け負っています。このたび、これら三施設でボランティアスタッフとして施設の運営や施設の案内をしていた方々を募集します。

応募される方は、左記まで連絡をお願いします。

景観支援センター(月曜日休)(正午〜13時昼休)

TEL0744 22 1128

中西 知

携帯TEL090 3276 2635